



援農ボランティア 活用しませんか？

援農ボランティアとは

農業者の皆さまが抱える日々の農作業・収穫時等の人手不足に対して、農業に関心があり、農作業のサポートを行いたい地域住民等がボランティアとして皆さまの農作業を支援する取り組みです。

「収穫の時だけ…」
「人手が多く必要な時だけ…」
サポート
してほしい

JAがボランティアとの
マッチングを支援します！

地域農業
を支えたい！

マッチング！

農 業

JA

地域人材

導入事例
はこちら



活用しています! 援農ボランティア



動画で解説

依頼内容

●みかんの収穫

きっかけ

- 畑の面積を拡大していく中で、人手不足を感じていた時にJAが援農ボランティアの受入農家を募集することを知って、早々に応募しました。

取り組む際の準備等

- 元々親戚や友人に手伝ってもらっていたので、普段農作業に従事していない方に手伝っていただくことに対して不安はありませんでしたが、作業内容は具体的に説明したり、休憩時間をしっかりとってもらえるように意識しています。

取り組んで良かったこと

- ボランティアの方とコミュニケーションを取ることで打ちとけ、仕事もスムーズに進むようになりました。当然収穫量は増えましたし、年数を重ねることで、作業が上達されるのを感じます。もちろん農業者と比べれば、スピードは落ちますが、一生懸命取り組んでくれる姿勢を見ると嬉しく思います。
- 同年代のさまざまなお仕事を経験されてきたボランティアの方々と、作業の合間にお話するのも楽しみの一つになっています。



取材協力：池田柑橘園（JAふじ伊豆）



援農ボランティア 参加者の声



取材協力：池田柑橘園（JAふじ伊豆） 援農ボランティア



友達からみかんの収穫をお手伝いするボランティアがあると誘われて、夫婦で参加しました。農村育ちで家庭菜園もしていたので農業に多少なじみはありましたが、商品になるまでの過程に関わることができるというのは感動ものです。

最初は、どのみかんを収穫すればよいのか不安でしたが、今ではみかんの種類の見わけも付きます! 収穫をお手伝いさせていただいて、改めて作物を育てるご苦労がしのばれ、これからも微力ながら応援したいと思っています。



定年を迎え、これまでと違ったかたちで私たちが手伝えることがあったら、こんな良いことはないなという思いで援農ボランティアに参加しました。

ボランティアと言えど、責任をもって作業させてもらいますが、1個1個木から実を収穫する作業の大変さというのを初めて知りました。ただ買って食べるだけでは得られなかった学びや感動があります。

私たちは、1年のうち数か月のお手伝いですが、我が家の毎年の恒例行事になっています。



援農ボランティア JAの支援

JA が、ボランティアの受入相談、人員募集、活動日の日程調整を行います。

お問い合わせ